

「東京電力福島第一原子力発電所事故の収束・検証に関する当面の取組のロードマップ」の進捗状況のポイント

平成23年6月17日
原子力災害対策本部

各取組の実施目途と現時点における達成状況

1. 国による支援・安全性の確認

(1) 原子炉の冷却

ステップ1終了時までに安定的な冷却

(原子炉の冷却) 汚染水発生低減のため注水量を最小限に削減。循環冷却システムの運転を開始する。原子力安全・保安院は運転状況を確認する。

概ね予定通り進捗中

(窒素封入) 1号機に続き、2・3号機の格納容器についても6月下旬から7月初旬目処に窒素封入予定。原子力安全・保安院が安全確認予定。

1号は実施、2・3号は準備中

(建屋内環境改善) 1号機に続き、2号機原子炉建屋内の環境改善作業を開始。原子力安全・保安院が環境影響評価を実施。

1・2号は予定通り進捗、3号は準備中

(炉心解析) 原子力安全・保安院が炉心解析を実施。IAEA報告書に記載。

実施済み

(2) 使用済燃料プールの冷却

ステップ1終了時までに安定的な冷却

2号機については循環冷却システムを設置済み。3号機についても6月中に設置完了予定。原子力安全・保安院が安全を確認。1・4号機についても順次実施予定。

概ね予定通り進捗中

(3) 放射性物質で汚染された水(滞留水)の閉じ込め、保管・処理・再利用

ステップ1終了時までに本格的処理の開始

汚染水の流出防止対策、移送先の確保、汚染水処理設備の設置等を実施し、処理を開始する。原子力安全・保安院が安全を確認。汚染水処理に伴い発生する高濃度の廃スラッジの保管・処理の検討を実施する。

概ね予定通り進捗中

(4) 地下水汚染の拡大防止

地下水汚染拡大防止

地下水の流れの状況及び地下水の放射性物質による汚染の状況を踏まえ、東京電力が地下水の遮蔽壁について検討中。

検討中

(5) 大気・土壌での放射性物質の抑制

放射性物質の飛散抑制

(原子炉建屋カバリング) 1号機原子炉建屋カバーの設置に向けて作業しており、原子力安全・保安院が安全性を確認後、着工予定。

実施中

(飛散防止剤) 4/1から試験散布、4/26から本格散布を実施中。

実施中

(がれき撤去のためのロボット導入支援) 遠隔操作可能なロボットの更なる導入に向けた検討を支援。

実施中

※ 点線は、現在のところ事業者主体で実施中又は検討中のもの

(6) 余震対策

〔災害の拡大防止〕

(耐震対策) 現状の1・4号機の耐震安全性が確保されていることを、原子力安全・保安院が確認。2・3号機については調査中。

概ね予定通り進捗中

(津波対策) 浸水防止のための防潮堤の設置工事中。仮設ディーゼル発電機の高台への移設を実施済み。

実施中

(多様な放射線遮へい対策の確認) 東京電力において、様々なリスクを想定したスラリー利用のための配管、無人圧送機の設置等の対策を実施中。

実施中

(7) 作業環境の安全確保、生活環境・健康管理の改善

〔被ばく線量管理の強化、環境改善及び健康管理の充実〕

(被ばく線量管理) 線量限度を超える作業員の発生を踏まえ、原子力安全・保安院及び厚生労働省の指導の下、被ばく線量管理を強化、再発防止策を徹底。

実施中

(作業員の生活環境) 弁当の提供やシャワー施設の提供、仮設寮の設置などにより、作業員の生活環境を改善。

実施中

(健康管理) 緊急作業に従事した作業員の長期的な健康管理のためのデータベースの構築について、専門家による検討会で具体的検討予定。

検討中

2. 国際協力

(専門家受入、資機材提供等) 原子力専門家と関係府省及び関係機関との間で意見・情報交換を実施。

実施中

(国際通報の強化) 放射性物質の排出・管理を含め、諸外国や国際機関、外国メディア等への情報提供は、関係府省が協力して適切に実施。

実施中

3. 事故原因等の調査・検証

(IAEA閣僚会議) 事故原因分析、これまでの対処、教訓や対策を原子力災害対策本部がとりまとめ、6/7にIAEAに提出。

実施済み

(事故原因の調査、検証) 事故の原因及び当該事故による被害の原因を究明するための調査・検証、政策提言を行うため、事故調査・検証委員会の開催を閣議決定。6/7に第一回会合。

実施中